

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2223号

2014年08月11日（月曜日）

《 geopolitical risks 》

イスラエルとガザを支配するハマスの対立、イスラム国（IS）を巡る状況の変化など中東の情勢は依然として不安定であり、ウクライナ東部を巡る情勢変化も激しい。いわゆる「地政学的リスク」が高い中で、引き続き落ち着かないマーケット状況が続くそう。先週金曜日にニューヨークの株価はダウで185ドル強の反発と大きく上昇したが、このまま世界最大の市場が「上げ基調」を取り戻すことが出来るかどうかは、夏の薄商いもあって良く分からない面がある。金融情勢の枠組みが変わる中で、展開は不安定と考えるのが自然だ。

イスラエルとガザの関係を見ると、新たな72時間の停戦が日本時間の今朝方合意され、またイスラム国のアルビルに向けた侵攻はアメリカ軍の限定的空爆の開始でいったん止まっている。このため中東情勢にはある程度の落ち着きの兆しが見える。

しかしウクライナを巡る情勢にはマーケットは敏感だろう。先週末のニューヨーク株価の大幅反発も、ロシアが「ウクライナとの国境付近で実施していた軍事演習を終了した」と発表したことを手がかりとしていた。それまでは方向感の定まらない展開だった。通常では「それほど大きな相場変動をもたらすだろうか」と思われるニュースだが、一つはそれだけ市場がウクライナを注視しているということ。もう一つは、マーケットは反発の機会を窺っていた、とも言える。

実際的に見ても、今の世界と世界経済はウクライナ東部を巡る情勢の転換で大きく変化する可能性がある。イタリアなどがリセッションに入ったとも言える今の欧州景気は、「報復の応酬」によって一段と悪化する危険性がある。そうなれば、ドラギ ECB 総裁が記者会見で何回も述べたように、ユーロ安が一段と進展する。

ロシアは欧米航空会社によるロシア領上空の飛行禁止を「検討している」と言っているが、実際に発動されれば世界の不安感はもう一段高まることになる。世界のモノとヒトの流れの自由化が大きな影響を受けることになるからだ。ロシアがそこまで踏み込むかどうか、常識的に考えれば「ノー」だが、それは実際には「分からない」というのが当たっている。逆に、ウクライナの親露派が提案している「停戦」が実現すれば、マーケットの緊張感は緩むことになる。

ウクライナ東部の全般的な情勢は、「政府軍の進軍が続いている」と見られる。だから親露派は「停戦」に触れたりしているし、ロシアも「親露派を見限った」と見なされることを嫌がって対抗措置を打ち出している可能性がある。しかし全ての展開は「プーチンの腹次

第」というところがあって、「この問題はこうなる」と予測するのは難しい。欧州の景気に腰折れの危険性があるのに対して、アメリカ経済は強い。それが「ドイツ株を中心に下げ続ける欧州の株」に対して、「切っ掛けさえあれば大幅に反発」するアメリカ株の差になっている。

日本株に関して今週材料視されそうなのは、この週末に日経デジタル版が「公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（G P I F）が、国内株式の保有上限を撤廃したことが分かった。5日に開いたG P I Fの運用委員会で決めた。約 130 兆円ある全資産の18%までと定めていた上限を超えても買い増せるようになる。9月に新たな資産割合を決めるまでの暫定措置で、9月以降は国内株式の割合を20%台に増やす。」という報道だ。「5日に開いたG P I Fの運用委員会で決めた」となっていて、それがなぜ8日まで公表・報道されなかったのか今ひとつ分からない記事になっているが、材料としてはインパクトがある。

日経の記事は「国内株式の運用比率を1ポイント増やせば1兆円強の買いが発生する。仮に3月末実績の16%から20%に高めると、約5兆円の買いに相当する。上限の撤廃により、より円滑に目標に近づけられる」と続く。

《 many indicators 》

日本では夏休みのピークだというのに、発表される経済指標は多い。米7月小売売上高、米7月卸売物価などが大所か。あと米景気の強さがあるだけに、イエレンFRB議長の立場はよく知られているにしても、多数決で決まるFRBの政策に関してそれぞれのFRBの幹部達がどう考えているか。マーケットは大きな関心を持つことになるろう。

今週の主な予定は以下の通り。

08月11日（月曜日）

6月第3次産業活動指数

7月マネーストック

マレーシア6月鉱工業生産

7月消費動向調査

金融経済月報

休場=タイ

08月12日（火曜日）

7月企業物価

オーストラリア7月企業信頼感指数

7月中古車登録台数

7月発受電電力量

7月マンション市場動向

8月ESPフォーキャスト調査

インド7月消費者物価

08月13日（水曜日）

インド6月鉱工業生産
独8月ZEW景気予測指数
米7月財政収支
休場=タイ
4~6月期GDP速報値
金融政策決定会合の議事要旨
中国7月工業生産高・小売売上高
中国1~7月都市部固定資産投資
中国1~7月不動産投資
英4~6月失業率
ユーロ圏6月鉱工業生産
英イングランド銀の四半期インフレ報告書
米7月小売売上高
米6月企業在庫

08月14日（木曜日）

6月機械受注
韓国銀行の金融通貨委員会
インドネシア中銀の金融政策決定会合
インド7月卸売物価
仏4~6月期GDP速報値
独4~6月期GDP速報値
ユーロ圏4~6月期GDP速報値
米新規失業保険申請件数
米7月輸出入物価指数

08月15日（金曜日）

香港4~6月期域内総生産
マレーシア4~6月期GDP
英4~6月期GDP速報値
米8月ニューヨーク連銀景気指数
米7月卸売物価
6月対米証券投資
米7月鉱工業生産
米8月ミシガン大学消費者態度指数速報値
休場=韓国、インド、ギリシャ

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。「全般的には台無しの週末」と言えるのではないのでしょうか。土曜日は木更津沖でアクララインを見ながら簀立（すだて）漁をして遊びましたが、今にも降

りそうな天気が続きました。風もややあって、波もちょっと高かった。その後は房総半島のへソとも言える位置にある亀山湖畔に移動しましたが、日曜日は時々激しい雨と風だった。今週はもうちょっと安定した天気になりそうです。

ところで、簀立（すだて）漁は初めてやったので、面白かった。昔ながらの漁法のひとつだそう。沖合の海中に簀を立てて満潮時ここに入った魚達を、干潮を待って捕らえる方法。全部の魚が自然に入るわけではなく、多くのお客さんが楽しめるほどに魚は補充しているのでしょうか、鯛、鱸、鰻、渡り蟹などなど、大物、小物の各種の魚が入っていて、干潮時には大人の膝下位の水位になって下は砂地なので、楽しく遊べる。海に浮かぶ屋形船で移動して、その先で魚取り、潮干狩りを楽しむといった嗜好。

その後に移動した亀山湖は初めて行きましたが、まるでトトロの森のような静かな山間で、また雰囲気が変わる。「千葉」というと直ぐに「海」を思い浮かべますが、亀山湖の深い緑に触れると、「千葉には“山”もあるんだ」と思いました。台風で雨がちだったことあるのですが、本当に深い緑で、空気は澄んでいた。朝はどんな真夏でも22～23度以下下がるということで、「千葉にはこんな良い場所もあるんだ」と思いました。温泉もいわゆる「黒湯」で変わっている。体には良いそうな。アクアラインを使えば都心から1時間半で行ける。

それでは皆様には良い一週間をお過ごしください。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》